

J A 農産物直売所視察研修会を開催！

—埼玉県J A 農産物直売所視察及び担当者との意見交換を実施—

7月10日（月）～11日（火）、直売所の販売力強化や運営改善に向けた取り組みの一環としてJ A 農産物直売所の視察研修会を開催し、直売所担当者8名が参加しました。

1日目は、埼玉県J A いるま野「あぐれっしゅ川越」を視察しました。同店舗は、新鮮な農産物の味を知ってもらうため試食による販促活動に力を入れている店舗です。視察後、J A いるま野本店で埼玉県の直売所担当者との情報交換会議を開催しました。会議では、店舗間の情報共有の方法やスタッフ確保対策、品揃対策等について活発な意見交換を行いました。



【視察する参加者】



【情報交換会議の様子】

2日目は、J A 埼玉中央「吉見農産物直売所」を視察しました。同店舗は、集客力のあるイベントを計画的に実施するとともに、客導線を意識した売場づくりが特徴の店舗です。店舗内を視察しながら積極的に店長と意見交換を行いました。



【工夫された売場づくり】



【視察の様子】

中央会では今後も、直売所の販売力強化を通じて多様な農業者が農業所得を確保できるよう、担当者研修会を実施するとともに、店舗診断による個別運営支援などに取り組んでいきます。

3つのC (① チェンジ C hange (変革) ・ ② チャレンジ C hallenge (挑戦) ・ ③ クリエイト C reate (創造)) で販売品取扱高目標の達成！

県南地区・苺観光農園現地検討会(育苗期)を開催

JAグループ栃木担い手サポートセンターでは、7月5日(水)に県南地区・苺観光農園現地検討会を開催しました。この現地検討会はJAしもつけ、JAおやま、JA足利、JA佐野管内の観光農園6社が有志で集まり、生産技術や品質の向上のために、年2回開催しています。



【現地検討の様子】

28年産苺のシーズンが終わったばかりですが、各農園とも次年度用の健全な苗生産に向けて親株管理に力を注いでいるところです。

今回は育苗期の開催であったため、各農園の育苗ハウスを巡回訪問し、親株の管理状況やランナーの発生具合を中心に確認を行いました。それぞれの課題や管理方法について活発に意見が交わされ、内容の濃い現地検討となりました。

現地検討後も、下都賀農業振興事務所の庭田副主幹による講評や勉強会、全農とちぎやJAグリーンとちぎによる土壌診断と施肥設計相談会などが開催され、各農園の担当者もこれからの苺作りに向け、スキルアップを図りました。



【勉強会等の様子】

次回は12月に本圃での現地検討会が予定されています。県内の苺生産者と同様に、観光農園も切磋琢磨の意欲を感じます。

第2回農業基礎研修会(農業機械安全・労災)を開催

—営農の基礎知識を身につけよう—

担い手サポートセンターは、6月28日(水)に第2回農業基礎研修会を開催し、新規就農者約30名が参加しました。

この研修会は、新規就農希望者及び就農後間もない生産者を対象としています。第2回となる今回は「農業機械安全・労災」をテーマに、農業用機械などを販売するやまびこシャパン株式会社と、全農とちぎ農業機械課の担当者を講師にお招きしました。



【研修会の様子】

やまびこシャパン株式会社の担当者は、刈り払い機の正しい操作方法を中心とした説明を行い、①作業前に各部の点検を実施すること、②あらかじめ作業現場の障害物を取り除いておくことなど、計19個のポイントを挙げました。全農とちぎ農業機械課の担当者は、農作業事故の発生状況や熱中症の応急処置・予防対策などについて注意を促しました。また、担い手サポートセンターからは労災保険の加入状況や補償範囲などを紹介しました。

農業基礎研修会は全5回の予定で、8月29日(火)に開催する第3回では「病害虫・雑草の基礎」について研修を行います。これからもJAグループ栃木一丸となって、地域農業の担い手である新規就農者を支援していきます。



【農機実物を用いて説明が行われた】

JAユースセミナーを開催 —地元のことをもっと知ってPRしよう—

JA栃木青年部連盟は7月11日(火)、JAユースセミナーを開催し、県内の青年部盟友約100名が参加しました。

研修会では、那珂川町ふるさと大使である奥津真理子氏を講師にお招きし、「ラジオパーソナリティが小さな町で見つけたこと～生産者たちとのエトセトラ～」をテーマに講演いただきました。身近にあるものに価値を見出し積極的に発信していく重要性について、ラジオパーソナリティとしての経験を交えながら分かりやすく説明いただき、大変勉強になりました。奥津氏は「作った農産物のことがどれくらい好きか、また、どんな人に食べてほしいかをもっとPRすべき」とし、「メディアは載せるだけでなく、もっと上手く使ってほしい」と呼びかけました。

参加した盟友からは「生産者ではなく、消費者や一般の人といった違う視点からの話を聞くことができ参考になった」「話がおもしろく、引き込まれた」等の意見が寄せられ、充実した研修会となりました。



【JA青年組織綱領の唱和】

研修会後はJAグループ自己改革DVD(パート2:組合員編)を上映し、農協改革やJAの自己改革について理解を深めました。盟友からは「JAの役割は総合事業を通じて地域の生活を担い、持続可能な農業と地域社会を実現していくことだ」等の意見が寄せられ、協同組合の重要性を改めて認識することができました。

セミナー後のアンケートには、「10年、20年先の未来を見据えて、JAと生産者の関係を考えてほしい」等の意見も寄せられました。青年部連盟では、今そしてこれからを担う若手生産者の意見を吸い上げ、JA自己改革に活かしていきます。



【講演を行う奥津氏】

営農・経済担当者研修会 「栽培技術(アスパラガス)研修会」の開催

JAの営農・経済担当者を対象にした、アスパラガスの栽培技術研修会を7月14日(金)に開催しました。

午前中は、県の農政部、農業環境指導センター、全農とちぎの担当者から栽培技術の基礎や肥料農薬・防除に関する研修を受けるとともに情勢報告も行われました。

栃木県産のアスパラガスは、市場での品質評価も高く、国産の平均単価よりも高く市場で取引されていることもあり、27年産の国内シェアは12%で、4位との説明もありました。(オーストラリア(13%)、佐賀県(13%)、メキシコ(12%)に次ぐ4位。)

午後は、JAうつのみや管内のアスパラガス農家への視察も行いました。生産者から、アスパラガスを生産するきっかけやこれまでの苦労話、課題等を聞くことができ、65mもある大きなハウスについて「ちょっと大きく作りすぎてしまった。50mぐらいで良かったかもしれない」と失敗談も話していただきました。

また、初期投資などは、いちごと同じになるが、ランニングコストが抑えられるため、取り組み易いとのことでした。



【圃場で説明する生産者】



今後も営農・経済担当者を対象にした研修会を予定しておりますので、積極的な参加をお願いいたします。

栃木県日本農業新聞・家の光推進大会を開催

JA栃木中央会とJA栃木女性会は、7月19日（水）、栃木県日本農業新聞・家の光推進大会を開催しました。JA、中央会・連合会の役職員、女性会会員など約330名が出席しました。

主催者あいさつで中央会の高橋会長は「JA自己改革の『見える化』や組織基盤の強化を進める必要がある。日本農業新聞を活用した教育広報活動と家の光三誌を活用した教育文化活動を推進していこう」と呼びかけました。



【あいさつする高橋会長】

大会では次のとおり表彰も行いました。

日本農業新聞関係

1. 特別表彰 JAはが野、JA足利、JAなす南
2. 普及拡大優績JA JAおやま、JAうつのみや、JA足利
3. 優績通信員（敬称略）
田沼 洋律（JAしもつけ） 近藤 里奈（JAおやま）
稲見 智美（JAしおのや） 阿久津 遊（JAなすの）
大森美菜子（JAなす南）

家の光関係

- | | | |
|-------------------|-----------|-----------|
| 1. 普及拡大優績組合 | 『家の光』の部 | JAなす南 |
| | 『地上』の部 | JAはが野 |
| | 『ちゃぐりん』の部 | JAはが野 |
| 2. 普及優績組合 | 『家の光』の部 | JAうつのみや |
| | 『地上』の部 | JAはが野 |
| | 『ちゃぐりん』の部 | JAはが野 |
| 3. 『家の光』普及活用優良女性会 | | JAしもつけ女性会 |
| 4. 「家の光図書」普及優績組合 | | JAはが野 |

このほか、記事活用体験発表では5人が発表し、JAうつのみや女性会の阿久津とよ子さんが最優秀賞を受賞しました。阿久津さんは、「『目をかけ』『手をかけ』『話しかけ』地域の高齢化をささえて」と題し、『家の光』を活用したデイサービスセンター利用者との積極的な交流について発表しました。阿久津さんは来年2月に横浜市で開催される全国家の光大会に県代表として出場します。



【最優秀賞の阿久津とよ子さん】



【講演する堤未果氏】

記念講演では、国際ジャーナリストの堤未果氏が「報道されないアメリカの真実と守るべき日本の宝」と題して講演しました。

最後に、JA栃木女性会の猪野会長が、「日本農業新聞、家の光三誌の普及拡大を進め、県下普及目標を必達しよう」と申し合わせを提案し、参加者全員で確認しました。

情報の共有化、情報発信の強化、教育文化活動による地域の活性化を目指し運動が展開されますようお願いします。

目標	日本農業新聞9月初号	11,700部
	家の光12月号	11,300部

J A 助け合い活動研修会を開催

J A 助け合い活動研修会を、7月20日(木)に開催し、J A ひまわり会会員およびJ A 担当者ら44名が参加しました。

この研修会は、県内J A 助け合い活動の事例を共有するとともに、高齢者福祉に関する知識を習得して、助け合い活動の活性化と質的向上をはかることを目的に開催しているものです。

県内6 J A ひまわり会の事例報告では、ハンドモップ・ランプシェード・ティッシュボックスカバーなどの作り方を報告、高齢者向けの料理講習やミニデイサービスでの「健康体操」・「笑いヨガ」・「スライドカーリングゲーム」など、今後の活動に参考となる取り組みが発表されました。

また、栃木県レクリエーション協会の相田美智子先生を講師に迎え、「ミニデイで活用できるレクリエーション」と題して講演と実技を行いました。

実技では牛乳パック活用によるミニバスケット・紙トンボの作成方法を学んだほか、紙パックタワー・けん玉・輪投げでは、グループで競い合う遊び方を学びました。それぞれ簡単なようでなかなか難しく、身体だけでなく脳の活性化にもつながり、さらにはお金をかけなくてもアイデアひとつで楽しめるレクリエーションの習得ができました。

今回の研修を、今後のひまわり会活動の充実に役立てていただくことを期待します。



【手芸教室で作った作品を披露する参加者】



【牛乳パックを活用したレクリエーションを行う参加者】

電算センターニュース

ー法定電気点検実施に伴うオンライン運用時間の変更についてー

J A 栃木電算センターの電気設備に関する法定電気点検（年1回実施）を、平成29年9月23日（土）夜間～24日（日）早朝に実施します。

これに伴い、一部システムのオンライン運用時間を下記の通り変更させていただきますので、ご理解ご協力の程よろしくお願いたします。

システム名	9月23日（土） （秋分の日）	9月24日（日）	（参考）通常運用時間
J A 購買システム	8:00～ <u>18:00</u>	<u>9:00</u> ～21:00	8:00～21:00
資産査定支援システム	8:00～ <u>18:00</u>	<u>9:00</u> ～21:00	8:00～21:00
農業簿記記帳代行システム	8:00～ <u>18:00</u>	<u>9:00</u> ～21:00	8:00～21:00
全国総合ポイント接続システム	8:00～ <u>18:00</u>	<u>9:00</u> ～22:00	8:00～22:00

なお、上記以外のシステムについては、休日・祝日が非稼働であるため変更はありません。

また、ATMについては、休日・祝日運用時間（9:00～17:00）と電気点検の実施時間帯が重ならないため、通常どおりの運用時間となります。

教育センターレポート

—ライン管理職研修会を開催—

7月4日(火)～5日(水)にライン管理職研修会を開催し、6JA、酪農とちぎ、かみつがサービス、中央会のライン管理職40名が参加しました。

この研修会は、ライン管理職の役割である部署および部下の業務目標達成に向け、マネジメント手法のひとつである目標による管理(MBO)について学び、管理職としての資質向上をはかることを目的としたものです。昨年度までは10月に実施していましたが、今年度は時期を早めて実施しました。

講師に(株)メッツ・コンサルティング 代表取締役社長 新井 陽二氏を招き、「目標による管理とは」、「目標による管理の進め方」等について講義を受けた後、目標管理カードの作成、目標設定面接、進捗管理、部下の目標達成の支援について、ロールプレイ等により具体的に学びました。

参加者からは、「目標設定・面接の実施や管理の5機能演習」や「問題行動のある部下への対応及び伝達と指導方法」が参考になったなどの感想が聞かれました。

今回の研修で学んだことを業務に生かし、ライン管理者として自部署の目標達成に向けて、部下の管理・指導に取り組まれることを期待いたします。



【研修会の様子】

—理事・監事研修会（前期）を開催—

理事・監事研修会（前期）を7月5日(水)と11日(火)の2班に分けて開催し、10JAと2専門農協の非常勤の理事・監事250名が参加しました。この研修会は農業・JAをめぐる情勢および課題等について研修し、役員としての資質向上をはかることを目的としています。

研修会では、「農政をめぐる情勢」として、日本とEU・EPA交渉の結果や平成30年産米作付けに関する情報等について中央会農業くらし推進部が説明しました。また「平成28年度JA経営の現況と協同組合の特質」として、JAの平成28年度決算状況等について中央会経営指導部が説明しました。

その後、広島大学大学院助教の小林 元氏から「JAの自己改革をどう進めるか」と題し講演を聞きました。

小林氏は、「役員の皆さんには今後の地域と地域農業をどうするのか、そのグランドデザインを描いて欲しい。そしてJAの経営者として、その達成に向けて投資しリスク管理し責任をとる。」「JA自己改革の成否のカギを握るのは組合員からの評価。そのため、農業の担い手をはじめより多くの組合員にJAの自己改革の取り組み状況を伝え、組合員の意見・要望を吸い上げること。役員の皆さんにはその仲介役として活躍を期待する。」と述べました。

参加者からは、「JAの置かれた状況と役員としての責任の重さを感じた」「自分の言葉でJAとは何か組合員に説明できるように考えたい」等の感想が寄せられました。

今回の研修を参考に、各JAの自己改革の取り組みを精力的に進めていただければと思います。



【講演する広島大学の小林氏】

—中堅職員ステップアップ研修会を開催—

7月4日(火)、19日(水)に中堅職員ステップアップ研修会をJAはが野真岡支店で開催し、JAはが野の入組6年目の職員12名が参加しました。

この研修会は、中堅職員として組合員・利用者の視点に立ち、自分の仕事や仕事の進め方等の問題点について考え、改善提案できる能力を養うことを目的としています。JAの自己改革を見据え、中堅職員のレベルアップと事業の改善をはかるために、中央会がJAに出向いての研修として今年度から実施するものです。

研修では、1日目に「ロジカルシンキング」、「マーケティング」を学びました。「ロジカルシンキング」ではロジックツリーの作成等により自分の考えを論理立てて整理し、相手に分かりやすく伝える方法を学びました。「マーケティング」では組合員・利用者の視点に立ち、JAの商品・サービス提供のあり方について考えました。

2日目は「実践応用研修」を実施し、「職場における業務改善」をテーマに部門ごとに分かれ、グループ研究を行い改善提案書を作成しました。

参加者からは、「問題を見つけ掘り下げていく手法を今後実践していきたい」、「中堅職員には日々の業務の改善点を提案する責任があることを学んだ」などの感想が聞かれました。

今回の研修で学んだことを業務に生かし、中堅職員として職場における改善活動の実践を期待いたします。また、この研修は今後ほかのJAでも実施していく予定です。



【業務の改善提案を発表するJAはが野の受講生】

J A教育センター主催の8月・9月の研修会等の開催予定は下記のとおりです。

日 程	研 修 会 名	対 象 者
8月2日	資格認証・特級研修会⑤	特級 受験予定者
8月3日～4日	第9回JA中核人材育成研修⑫⑬	将来の幹部職員候補者
8月7日	資格認証・上級研修会①(第1班)	上級 受験予定者
8月8日	資格認証・特級研修会⑥	特級 受験予定者
8月9日	経営担当者セミナー	常勤役員
8月10日	資格認証・上級研修会①(第2班)	上級 受験予定者
8月10日	農協監査士養成研修会⑨	29年度農協監査士試験 受験予定者
8月17日	第9回JA中核人材育成研修⑭	将来の幹部職員候補者
8月22日	資格認証・中級研修会②(第1班)	中級 受験予定者
8月23日	資格認証・上級研修会②(第1班)	上級 受験予定者
8月24日	資格認証・特級研修会⑦	特級 受験予定者
8月24日	第9回JA中核人材育成研修⑮	将来の幹部職員候補者
8月28日	資格認証・中級研修会②(第2班)	中級 受験予定者
8月29日	第9回JA中核人材育成研修⑯	将来の幹部職員候補者
8月30日	資格認証・上級研修会②(第2班)	上級 受験予定者
8月31日	資格認証・特級研修会⑧	特級 受験予定者
9月5日～6日	新入職員フォロー研修会(第1班)	新入職員
9月8日	第9回JA中核人材育成研修⑰	将来の幹部職員候補者
9月14日～15日	新入職員フォロー研修会(第2班)	新入職員
9月15日	第9回JA中核人材育成研修⑱	将来の幹部職員候補者
9月20日	平成30年度JAグループ栃木 職員統一採用試験(高校卒)	平成30年3月高校卒業見込者または卒業者
9月21日～22日	新入職員フォロー研修会(第3班)	新入職員
9月26日	第9回JA中核人材育成研修⑲	将来の幹部職員候補者
9月27日	資格認証・中級研修会③(第1班)	中級 受験予定者
9月29日	資格認証・中級研修会③(第2班)	中級 受験予定者

※受講申込は、J A 栃木教育センターまで。

(TEL : 028-616-8560 FAX : 028-616-8594 E-mail : kyouiku@tcchu-ja.or.jp)



消費者へ農業理解促進の一環として、下野新聞に毎月1回「ふおーyou とちぎJAプラザ」を掲載しています。

ここで、アンケートを実施し、紙面に対する感想が寄せられていますので、一部ご紹介します。今後の事業取り組みの参考にして下さい。

～5月18日掲載 テーマ JAうつのみやのタマネギ～

【タマネギについて】

- ・タマネギは料理に欠かせない万能野菜です。生産者のみなさんに引続きおいしいタマネギを作っていただきたいと思います。
- ・農産物の宝庫の本県、全国に誇れるおいしい野菜ばかりです。今回のタマネギは大好きな野菜です。本県からたくさんのおいしい農産物を全国に発信してほしいです。
- ・生産者の方々の農業に対する情熱が伝わり、また、タマネギの歴史も知れてとてもよかったです。
- ・「ふおーyou」興味深く読んでいます。タマネギの本県の生産量が全国6位であるとの記事、なるほどと思いました。
- ・雑学辞典、県内のタマネギ、とても学習になりました。栃木県が生産量が全国6位はとても素晴らしいと思います。今後も伸びるといいですね。

【JAの取り組みについて】

- ・青木産直会(JAなすの)の野菜の記事が参考になり、行ってみたいと思います。
- ・私の家の近所の青木産直会を紹介してくださってありがとうございます。もうオープンして20年になることに驚きました。この産直ができて、お年寄りの張り合い、生きがいが出てきたと思います。行ってよかった道の駅、第4位だったんですね。
- ・次代を担うでは、農業者としての試行やチャレンジさが文にあらわれていて読み応えがある。今後も読み続けたい。
- ・地元のため、JAかみつがに関する記事は特に興味を持ち拝読しています。今回の柴山さんのイチゴに出会えて食する事が出来るのを楽しみにしています。
- ・毎月、県内の旬の野菜の情報が、生産者の方々の顔の見える内容で知ることができるので、とても興味深く、毎回楽しみにしています。

理事会だより

平成29年6月30日(金)に第4回理事会、7月10日(月)に第5回理事会が開催されました。

【第4回理事会】

(協議事項)

(1) 理事の順位について

役員の新補欠選任に伴う理事の順位が承認されました。

【第5回理事会】

(協議事項)

(1) 平成29年7月～平成30年3月の役員報酬および役員退任慰労金について

役員報酬等が承認されました。

(報告事項)

(1) 平成28年度下期監事監査指摘事項の回答について

(2) 中央会事業にかかるアセスメント調査の実施について

(3) JA農産物直売所POPコンテストの開催について

(4) JAバンク相談所「苦情等の受付対応実績(29年4月～6月)」について

(5) 平成29年度第1四半期「JAヘルプライン」受付対応実績について

(6) 下野新聞JAプラザふぉーyou読者アンケート結果について

平成29年8月主要行事予定表

	総務企画部	担い手サポートセンター	農業くらし推進部		経営指導部		電算企画運用部	電算開発部	全国監査機構 栃木県監査部
			農業ライン	くらしライン	経営ライン	教育ライン			
1 火			地域再生協議会意見交換会(俣谷)	家の光全国トップフォーラム					足利期中考査 佐野期中考査
2 水		TACアグリビジネススクール③	地域再生協議会意見交換会(河内)	↓	↓	新任考課者訓練			
3 木	経営会議		地域再生協議会意見交換会(芳賀)			↑	特級研修会⑤		
4 金			地域再生協議会意見交換会(那須)			専務常務会経営実務部会	中核人材育成研修会②		
5 土							中核人材育成研修会③		
6 日									
7 月		JAうつのみや面談支援(河内)				信用事業内部統制評価(しもつけ)	上級研修会①1班		
8 火		↑	くらしの活動検討会			↑	特級研修会⑥		信用事業内部統制評価(しもつけ)
9 水	理事会		農政対策本部委員会	フレッシュSMS実行委員会			経営担当者セミナー	TM研修 足利①	
10 木		指導員連盟視察研修会				第3回決算視察新任研修 監査士養成研修会④	上級研修会①1班 監査士養成研修会④	TM研修 足利②	
11 金									
12 土									
13 日									
14 月									
15 火									
16 水									
17 木	総務調整会議					企画管理担当部長会議	中核人材育成研修会④		しもつけ予備調査
18 金		JANAすの青色申告勉強会③							
19 土									
20 日									
21 月		JAうつのみや面談支援(南部)				信用事業内部統制評価(おやま)			なすの予備調査 信用事業内部統制評価(おやま)
22 火		サポート対策会議	H30県施策・予算知事要請			21.22.25.28日	中級研修会①1班		常勤監事会議
23 水			女性リーダー事務局研修会				上級研修会②1班		上期前監事研修会
24 木		JA管農・経済フォーラム (新横浜)				余裕金運用研究会			
25 金						内部監査担当者研修会・特級研修会⑦	特級研修会⑦		
26 土						信用事業内部統制評価(かみづが)	中核人材育成研修会⑤		信用事業内部統制評価(かみづが)
27 日						25.28.29.31日			信用事業内部統制評価(おやま)
28 月							中級研修会②2班		IT監査全社・全般統制 信用事業内部統制評価(おやま/かみづが)
29 火		新規就農者研修会③ (病害虫防除)	家の光記事活用講座				中核人材育成研修会⑥		信用事業内部統制評価(かみづが)
30 水			東農業再生協議会幹事会	POPコンテスト審査会		しおのパソコン研修(役員)	上級研修会②2班		信用事業内部統制評価(かみづが)
31 木				広報記事写真コンクール審査会			特級研修会④		

平成29年9月主要行事予定表

	総務企画部	担い手サポートセンター	農業くらし推進部		経営指導部		電算企画運用部	電算開発部	全国監査機構 栃木県監査部
			農業ライン	くらしライン	経営ライン	教育ライン			
1 金	経営会議								
2 土									
3 日									
4 月			使用済農業生産資材適正処理研修会		決算業務新任研修				信用事業内部統制評価(定利)
5 火			県農業再生協議会臨時総会・POPコンテント表彰式			新人職員フォロー研修会(1班)			
6 水			JJA農産物販売所運営改善研修会		専務常務会 視察研修	東北中堅ステップアップ研修①			監事協議会現地研修
7 木		TACアグリビジネススクール④							信用事業内部統制評価(定利)
8 金	監事会・理事会					中核人材育成研修会⑦			
9 土									
10 日	中央会・連合会役員研修								
11 月									
12 火						東北中堅ステップアップ研修②		中間審査会	
13 水		新嘗祭献穀粟御挨拶							なす南事前打合せ 信用事業内部統制評価(なす南)
14 木						新人職員フォロー研修会(2班)			なす南前打合せ かみつが事前打合せ
15 金	総務調整会議					中核人材育成研修会⑧			なす南期中監査I
16 土									
17 日									
18 月									
19 火									なす南期中監査I 信用事業内部統制評価(なす南)
20 水						高卒採用試験			なす南期中監査I かみつが期中監査I
21 木						新人職員フォロー研修会(3班)			
22 金									なす南期中監査I
23 土									
24 日		新規就農相談会(第3回)							
25 月		栃木県GAP推進キックオフ大会							なす南期中監査I かみつが期中監査I
26 火						中核人材育成研修会⑨			
27 水						中級研修③1班			信用事業内部統制評価(しおのや)
28 木									
29 金		新嘗祭献穀御米収穫祭 農業青年会加入促進特別研修会				中級研修③2班			
30 土									

第41回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール

作文の部 金賞受賞作品

「思い出のおむすび」

栃木市立寺尾中学校 1年 池澤 瑠奈さん

私は、「おむすび」が大好きです。特に、「塩おむすび」は格別です。なぜなら、お米の美味しさを一番引き出してくれるのが、「塩おむすび」だと思うからです。

朝、忙しくて時間がないときや食欲がないときでも、私はおむすびなら食べられます。運動会や校外学習のお弁当にもおむすびは入っています。お昼におむすびを食べると、お腹がいっぱいになり、力がわいてきます。そんなおむすびが私は大好きなのです。

そんなおむすびの中でも特に心に残っているのが祖母の作ってくれる「おむすび」です。小学校のころ、学校のない土曜日や夏休みのお昼に、祖母と一緒に「おむすび」を作ったことが何度もあります。私が作ると丸くなったことが何度もあります。私が作ると丸くなってしまふのに、祖母が作るおむすびはいつもきれいな三角でした。でも、形がすこしいびつでも、祖母と作ったおむすびはいつでも美味しく食べられました。なにより、祖母が私の作ったおむすびをおいしいと言って食べてくれたことが、何よりもうれしいことでした。おむすびはただのご飯というだけでなく、私と祖母をつないでくれる大事なコミュニケーションツールでもあったのです。

私が中学生になり、年を重ねた祖母も最近では体調をくずしてしまうことも増えてきています。時にはあまり食欲がないときもあります。そんなとき、私は祖母のために塩おむすびを作ります。小学生の時と変わらず、やっぱり形は三角形になりませんが、祖母は笑顔で美味しそうに食べてくれます。その笑顔を見ると、私もうれしくなって、祖母のために、また何かしてあげられないだろうか考えるのです。

私にとって、この塩おむすびは、祖母と私を結んでくれる「お結び」でもあるのです。子供だけではなく、祖母のような大人にも力を与えてくれる食べ物です。それはきっとおむすびの中に、「おいしく食べてほしい」や「健康でいてほしい」というような作った人の思いが入っているからかもしれません。きっと私と祖母のようにおむすびを通して思い出を作ってきた家族や親子もたくさんいると思います。友達のお弁当に入っているおむすびを思わず見てしまうこともありました。そんな思い出が、ますますおむすびを美味しく力が出てくる食べ物にしているのかもしれない。おむすびには人と人をつなぐ不思議な力があると、私は思っています。

日本では昔からおにぎりが食べられてきました。最近では海外でもこのおにぎりが知られるようになり、おにぎりのお店ができていたりもするそうです。しかし、今、日本のお米の生産量も消費量も減少し続けているそうです。調べてみると、昭和四十年のころは一人年間で百十八キログラムものお米を消費していました、ところが、平成二十五年には約五十七キログラムと、半分の量になってしまいました。日本の美味しい米がなければおむすびを作ることはできません。農家の方々が一生懸命作ってくれるお米だからこそ、私も美味しく食べられるのです。確かに、お米を作るのはとても大変なことです。私たちは、そんな農家の方々の苦勞のおかげで、美味しいご飯を食べられています。だからこそ、日本の食文化でもあるおむすび、そしてお米を守るためにも、たくさんの人に、おむすびやご飯のようにお米を食べてほしいです。

私はこれからもおむすびを作って食べていきたいです。祖母との思い出と、お米を作ってくれる農家の方々への感謝の気持ちをぎゅっとこめながら、おいしいおむすびを作りたいです。誰かと誰かを結んでくれるようなおむすびを。

JA自己改革一口メモ

～⑤改正農協法のポイント(3)～

改正農協法のポイント3つ目は、准組合員の事業利用規制です。

改正農協法附則では、准組合員の事業利用規制の在り方について、法律施行日から5年以内(平成33年3月まで)に、正・准組合員の事業利用の状況や改革の実施状況について調査を行い、検討を加え結論を得るとしています。

国は、JAはあくまで農業者の協同組織であり、准組合員へサービスを提供することで、正組合員である農業者へのサービスが疎かになってはならないと考えています。

しかし、前回述べたように、JAは総合事業を行うことにより、地域の農業とくらしに貢献しており、准組合員も含めた組合員が利用する信用・共済事業の利益の一部が、営農指導事業等に活用されています。

つまり、一概に准組合員へのサービス提供が正組合員の利益を阻害しているとは言えません。

JAグループは、准組合員の皆さんにもJAの各種事業や直売所、くらしの活動への参加などを通じて地域農業への理解を深めていただくことが、正組合員のメリットにも繋がると考えています。

准組合員の皆さんには、様々な形で農業やJAにかかわることで、地域農業を応援していただきたいと思います。

(JA栃木中央会)

